

SUSTAINABLE
 **U.S. SOY™**



U.S. SOY FOR A GROWING WORLD

Soy Food & Sustainable Future
大豆が拓く持続可能な未来

アメリカ大豆・サステナビリティ認証(SSAP)
の今、そして未来
U.S. Soy Sustainability Assurance Protocol (SSAP)
Present & Future SEP 15, 2021



US SOY.ORG



Soy Food & Sustainable Future
大豆が拓く持続可能な未来

USSECについて

ABOUT USSEC

アメリカ大豆輸出協会 (U.S. SOYBEAN EXPORT COUNCIL)について

About USSEC

GLOBAL FOOTPRINT



- 大豆生産者団体(USB)と、米国農務省 (USDA) 海外農業サービス(FAS)から資金を調達
- 90カ国で活動 | 非営利団体 | 社員は125名
- 企業会員 100社
- 日本オフィスは世界最長 65年の投資を受理

Since 1956



USSEC日本の対象エリアと主な活動

Japan Target Area and Main Projects

カテゴリー別大豆需要 (MT) Target Area Consumption



ソイオイル搾油
SOY CRUSH 250万

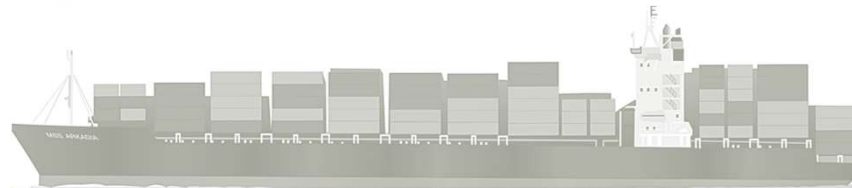


ソイフード/プロテイン
SOY FOOD 100万



ソイミール
SOY MEAL 330万

- カンファレンス主催 Conference
- 海外視察<年3-6回> Farm Tour in U.S.
- 情報提供 Info Sharing
- 業界マーケティング支援 Marketing Support
 - > 納豆業界事業スポンサー Natto PR
 - > ソイオイルマイスター検定 Soy Oil Master
 - > TOFU FUTURE PROJECT
- SSAP 認証使用企業広報支援
SSAP certified company public relations support





Soy Food & Sustainable Future
大豆が拓く持続可能な未来

アメリカ大豆と日本

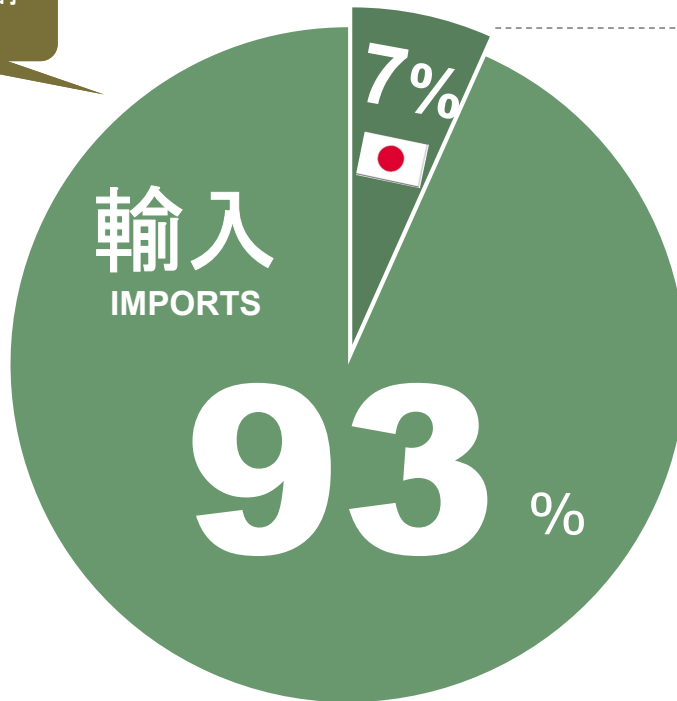
US SOY & JAPAN

日本の年間大豆需要と輸入先国

Japan Soy Demand and Import Origins (2020/21)

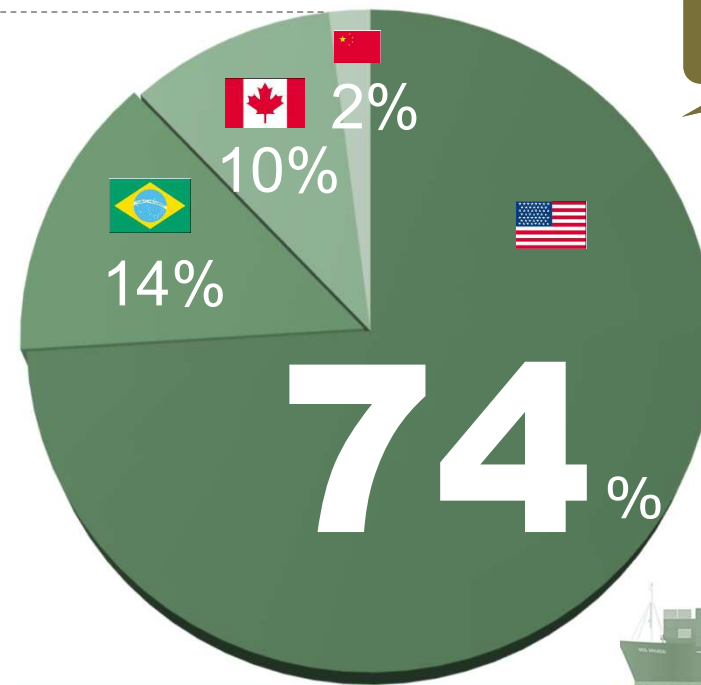
年間大豆需要
約350万トン

🇯🇵 は大豆の9割
を輸入



大豆輸入先国とシェア
約316万トン

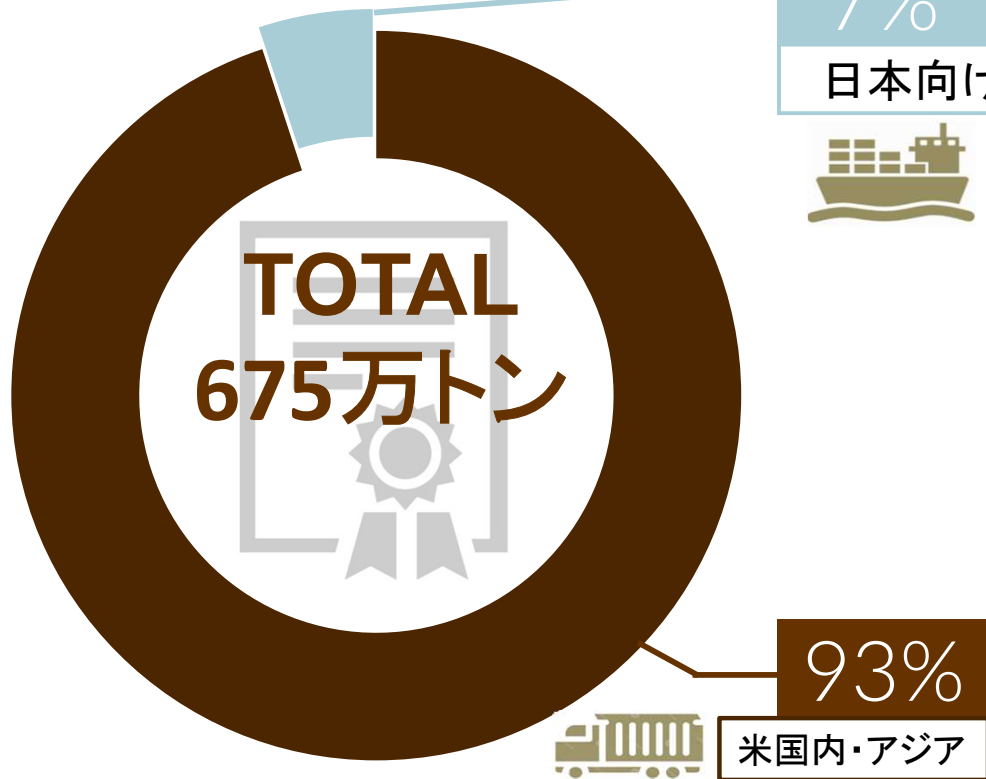
🇺🇸 のシェアは長年
7割で推移



アメリカのNon-GMO大豆生産と日本向け

U.S. Non-GMO Soybean Production & Shipment to Japan

米国のNon-GMO大豆生産量



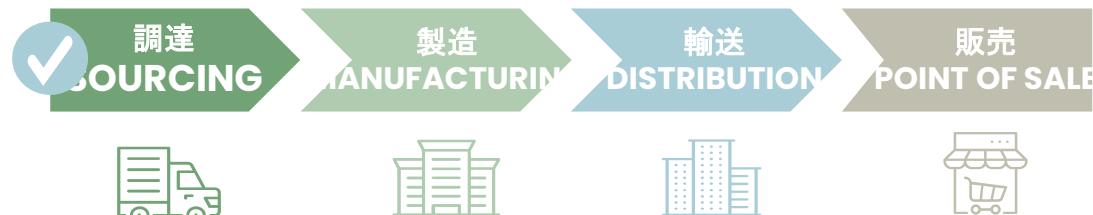
アメリカはNon-GMO（IP: 分別生産流通管理）された大豆の最大生産国



日本は IPされた大豆の最大輸入国



アメリカの農家は日本向けに厳格な品質管理のもと生産・出荷している





Soy Food & Sustainable Future
大豆が拓く持続可能な未来

SSAP 認証について

SSAP PRESENT

大豆のサステナビリティの重要性と背景

Background on the Importance of Soy Sustainability



世界の人口は2050年には90憶人に到達予測

多様な用途を持つ大豆の生産は増加を続けているが...

農地開拓などにもなう森林破壊などの影響で地球環境に多大な影響をあたえていることがわかってきた

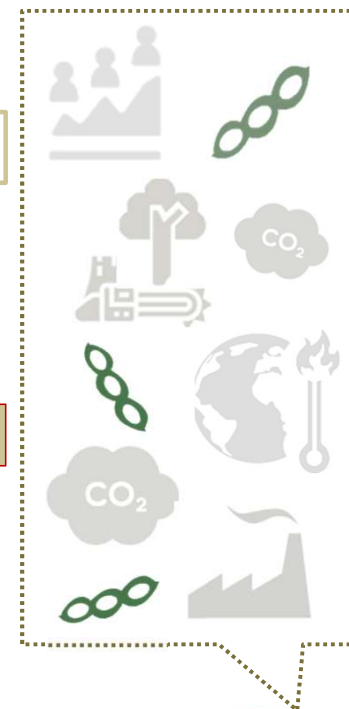
CO₂吸収量が低下

気温上昇や異常気象

大豆収量の低下

農業・食品業界におけるサステナビリティの重要性が指摘される様になってきた

環境に優しいサステナブルな生産へと切り替え、そしてそのプロセスを可視化・開示する必要性が高まってきている



SSAP認証について

About U.S. Soy Sustainability Assurance Protocol (SSAP)



国際認証

サステナブルな農法で生産・管理された大豆であることを認証する制度

全米規模の保全システム

連邦政府が定めるサステナビリティと保全に関する法規制に基づく取り組み

第三者機関による監査

全米の大豆生産者のほとんどが農業保全プログラムに参加しており監査の対象となる

輸出時に発行

アメリカのサプライヤーに依頼すると輸出時に発行される。最終製品にマークを印刷できる

SSAP 認証の4つの基準について

SSAP Four Directives

01

生物多様性と高炭素ストック
湿地、草地、森林、生物多様性



02

生産活動
保全耕起、輪作、精密農業



03

労働者の健康・福祉と人権
EPA, EEO, OHSA, 環境保護庁、雇用機
会均等法、労働安全衛生法



04

生産活動と環境保全
CRP(土壌保全留保計画)、保全プログラム、^{↑↑} トレーニング、情報共有



サステナブルな生産慣行とテクノロジー

Conservation Practices & Technology

不耕起栽培

次年度の作物を植える前に土壌を耕さないこと → 土壌の健康状態改善、土壌の圧縮・侵食防止、使用エネルギー節約、CO2 削減



芝生の水路

畑からの水の流出を遅らせる → 土壌侵食が水路に流れ込むのを防止、流出した土砂や栄養分が小川などの水域に入る前にろ過



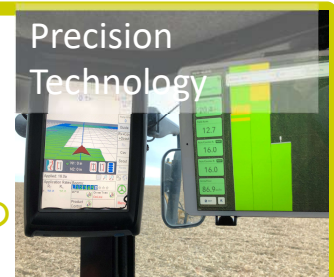
カバークロップ

冬の間には麦類などの作物を植えること → 土壌の健康維持、水の浸透性の向上、雑草の抑制、害虫サイクルの断絶



精密農業

GPSなど最新技術を駆使し、農場管理を最適化すること → 農薬・肥料等のインプットを最小化、収穫物のロス最小化、収量・収益性を向上



2025年までにアメリカの大豆生産者は以下を目指します

By 2025, U.S. soybean farmers aim to:



- 土地利用の影響を10%削減
- 土壌侵食をさらに25%削減
- エネルギー使用効率を10%向上
- 温室効果ガスの総排出量を10%削減

- ・ 継続的改善目標は、2014年に米国の主要な大豆業界で採用されたもので2000年のベンチマークに基づく
- ・ 限られた資源を研究・普及活動・測定に集中させ、目標達成を確認する
- ・ これらがまさにサステナビリティ = 継続的改善の基本



SSAP 認証の実績

Key Achievements for SSAP

- ✓ FEFAC (欧州飼料工業会) の2015年大豆調達ガイドラインに積極的にベンチマークされる
 - ・世界有数の検査・検証・試験・認証会社であるSGSにより、プロセスのISO認証を取得
- ✓ コンシューマーグッズフォーラムによる認定
- ✓ **東京オリンピック・パラリンピック組織委員会からの承認**
- ✓ グローバル・シーフード・アライアンス・ベスト・アクアカルチャー・プラクティスの一環
 - ・持続可能な飼料
- ✓ 欧州連合再生可能エネルギー指令 (RED)

SSAP認証の日本での実績

Key Achievement for SSAP



Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games Sustainable Sourcing Code

東京2020大会「持続可能性に配慮した調達コード」

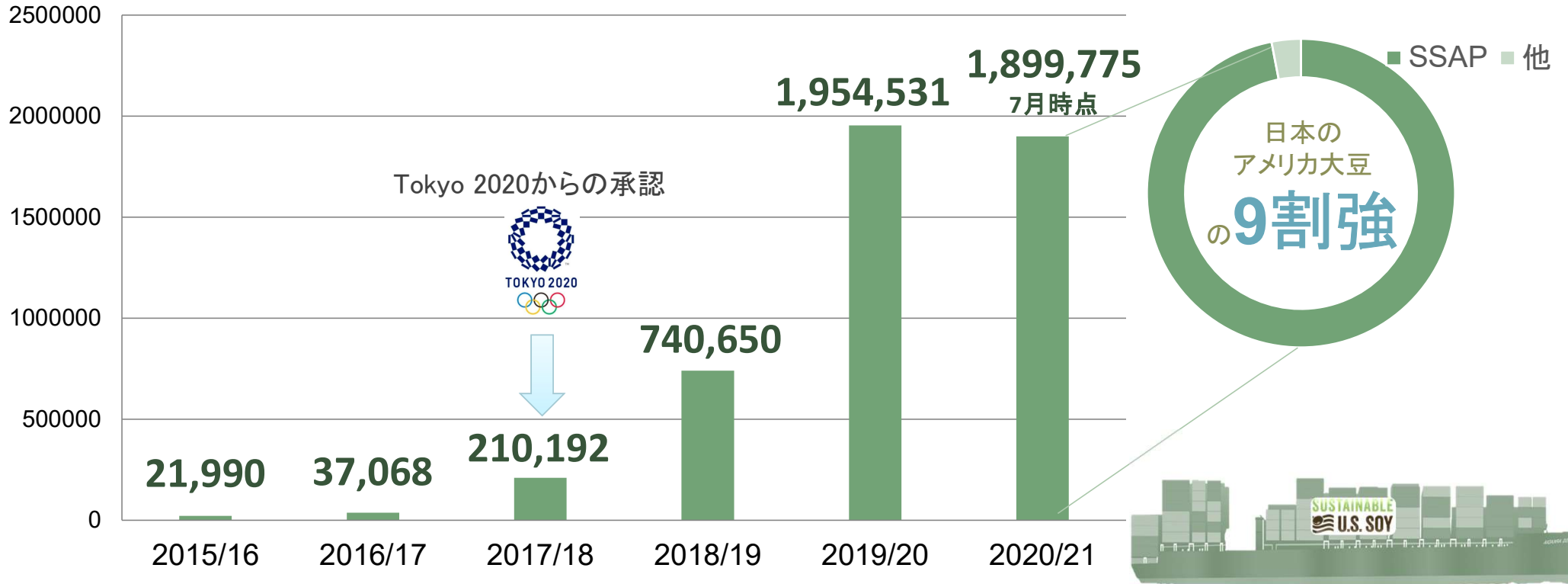


日本向けSSAP認証出荷量
(2015/16 - 2020/2021)



Verified Sustainable U.S. Shipment to Japan For Marketing Years
(2015/16-2020/21)

(MT)



SSAP認証マークと条件

SSAP mark and conditions



SSAP認証マークとは

- ・サステナブルな農法で生産されたアメリカ大豆であることを確認できる有効ツール
- ・東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の調達基準でも採用された実績がある



認証条件:

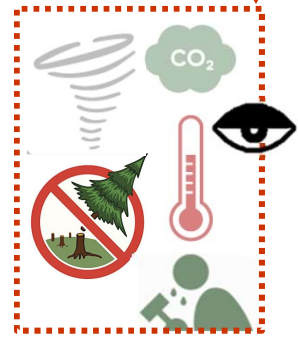
- ・年間使用大豆原料の60%がアメリカ大豆であること
- ・最終製品の大豆使用量のうち60%がアメリカ大豆であること
- ・アメリカにおいてサステナブルな大豆であることを証明する認証を輸入時にサプライヤーに依頼し、取得していること

SSAP 認証マークを活用するメリット 10

10 merits to disclose or print SSAP mark on your soy products



1. 事業のリスク管理や投資家の期待に対応 (CSR・ESG)
2. トレーサビリティの向上推進や原産地表示確保
3. よりよいサプライヤーの特定 (パートナーシップ)
4. 従業員を魅了し士気を向上
5. 事業効率の大きな向上
6. 新たな収益の流れを作る
7. SDGs への目標達成に貢献
8. 海外輸出の機会向上 (EU他)
9. ブランドイメージ向上/PRチャンス
10. USSECの広報サポートを受けられる





Soy Food & Sustainable Future
大豆が拓く持続可能な未来

SSAP 認証 未来

SSAP FUTURE

アメリカ大豆・サステナビリティ認証(SSAP)の今そして未来

U.S. Soy-SSSP Present & Future

2021-2022

- ・ SSAP認証リニューアル
+ 環境保全・生産方法・労働条件を追記
- ・ ベンチマークを継続
- ・ 譲渡可能なSSAP認証に進化
- ・ 企業・業界のベストプラクティスを発信

2021

2030

2040

2050



U.S. SOY FOR A GROWING WORLD

ありがとうございました THANK YOU

USSEC.ORG | USSOY.ORG | USSOYBEAN.JP



While the U.S. Soybean Export Council (USSEC) does not guarantee the forecasts or statements of USSEC Staff or Contractors, we have taken care in selecting them to represent our organization. We believe they are knowledgeable and their presentations and opinions will provide listeners with *detailed* information and valuable insights into the U.S. Soy and U.S. Ag Industry. We welcome further questions and always encourage listeners to seek a wide array of opinions before *making any* financial decisions based on the information presented. Accordingly, USSEC will not accept any liability stemming from the information contained in this presentation.

